がん治療法の選択肢を広げるための要望書

（免疫療法･免疫細胞療法をいつでも、どこでも、誰でもが受けられる社会を目指して）

免疫の力でがんを治す患者の会
会長　坂口　力（元 厚生労働大臣）

私たち「免疫の力でがんを治す患者の会」はがん免疫療法の中核を成す免疫細胞療法を国の政策支援のもとに推進し、公的保険への適用を通じて、がん患者が置かれている厳しい社会環境を改善していくことを目指して提言や情報発信を行ってまいります。

がんの治療法は、外科療法、化学療法、放射線療法の三大療法が標準治療とされていますが、その現状は、治療によって社会生活の変更を迫られたり、副作用による苦しみなど、がん患者にとっては厳しいのが現実です。

しかし、私たちが経験した自分の免疫細胞を使って治療する免疫細胞療法は、副作用が殆ど無く、生活の質に影響を与えることが無い治療法です。加えて三大療法との併用により、がん治療を支える基盤療法になり得るという期待も高まっています。

＜要望の趣旨＞

免疫細胞療法は、再生医療等安全性確保法のもと安心して受けられる医療となりましたが、未だ、いつでも、どこでも、誰でもが受けられる社会環境に至っておりません。がん治療で苦しんでいる患者さんやご家族に免疫細胞療法を広く知ってもらうとともに速やかな公的保険の適用を通じて、早く、等しくこの免疫細胞療法が受けられる社会を実現しなければならないと考えています。

その実現のために、私たちの活動にご賛同いただきますようお願いいたします。

氏　名	住　　所　（都道府県より記載、「同上」「〃」「々」等での省略は不可）

※署名用紙は、原本を下記までご郵送ください。（申し訳ありませんが郵送費はご負担願います。）

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2 番 28 号飯田橋ﾊｲﾀｳﾝ 518 号

「免疫の力でがんを治す患者の会」事務局

※署名頂きました内容につきましては、記載内容の目的以外には使用いたしません。

Vr.201612